

平成 2 5 年度大野南地区地域活性化事業交付金 交付決定事業の概要と評価

1

申請事業名	高齢者セーフティアドバイス事業（新規）
申請団体	大野南地区交通安全母の会
事業目的	大野南地区民生委員児童委員協議会の協力、相模原南警察署との連携のもと、独り暮らしの高齢者を対象とした戸別訪問や、高齢者サロンでの講話など、最新情報に基づくアドバイスを継続的に実施することで、事故被害や詐欺被害の件数縮減を図るもの。
交付決定日	平成 2 5 年 4 月 2 3 日
交付決定額 （事業費）	320,000 円（決算 324,150 円）
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スタッフジャンパーの製作（40 着）</li> <li>・ 啓発物品（クリヤファイル 70 枚・反射板キーホルダー 1,600 個）の購入</li> <li>・ 高齢者セーフティアドバイス（戸別訪問）の実施（13 回）</li> <li>・ 高齢者セーフティアドバイス（サロン等）の実施（10 回）</li> </ul>
市 評 価	近年、大野南地区においては、高齢者が犠牲となる交通事故や振り込め詐欺被害が後を絶たず、特に後者に関しては県内でも常にワーストランキング上位に位置づけられる現状にある。民生委員や警察と連携し、臨戸訪問や講話を通じて事故や犯罪被害から高齢者を守る趣旨の本事業は、安全・安心なまちづくりに貢献するとともに、極めて公益性の高いものと評価できる。
備 考	

申請事業名	地域情報紙発行事業（3年目）
申請団体	NPO法人 ここずっと
事業目的	市民レベルの市民のための市民が発する情報を紙媒体で発行することによって、地域コミュニティの再構築と活性化につなげる。
交付決定日	平成25年6月5日
交付決定額 （事業費）	400,000円（決算408,900円）
団体実績報告	<p>平成25年度は5号～7号の地域情報誌を発行した。</p> <p>【5号（8月9日発行）】「みーつけたうん このまちの便利屋さん シルバー人材センター」特集。「101人に聞きました このまちのどんなどころが気に入ってますか？」「教えて自治会 回覧板って、なんだ」等を取材。</p> <p>【6号（11月20日発行）】「教えて自治会 住民の手でつくるまちづくりのルール」「相模大野ちょっと昔の思い出ばなし」「ここみせ老舗レストランの新しい出発」等を取材。</p> <p>【7号（3月25日）】「みーつけタウン 住民の手でパークマネジメントを！」「128人に聞きました ここでずっと暮らしたいですか」「向き合うための健康ノート」等を取材。</p>
市 評 価	<p>大野南地区に密着した取材活動を通じ、自治会や商業者などの生の声を拾い集め、地域住民に向けて発信する当事業は、地域コミュニティが希薄化した今日においては、公益性が高いものと評価できる。</p> <p>紙媒体ということで、情報の拡散や経済性に若干の課題を残すが、SNS等の電子媒体導入や併用により、新たな展開が期待される。</p>
備 考	

申請事業名	防犯・交通安全に関する啓発事業及び支援事業（新規）
申請団体	特定非営利活動法人 さがみはら市民交番青パト隊
事業目的	「さがみはら安全安心ステーション」を拠点として、各種団体や行政と連携を図りながら、大野南地区を中心に防犯意識向上や交通安全運動について充実を図る。若手ボランティアの参加を募り、次世代の運動の担い手を育成する。
交付決定日	平成25年6月5日
交付決定額 （事業費）	400,000円（決算606,347円）
団体実績報告	青色灯搭載パトロール車による、防犯・交通安全に関する啓発活動を実施した。回数は1週間につき4日から6日である。当番を決めて1クールあたり2人から3人が乗務する。巡回コースは、車両駐留所から中和田自治会と谷口自治会区域を回り、市民交番に立ち寄り、相模大野駅周辺から女子大通り・御園・豊町・旭町・南新町・きづき・若葉などを巡回する。啓発方法は録音アナウンスとマイクによる呼びかけを併用している。また、鶴園小学校と南大野小学校通学路においては、隔週交代で青色灯と拡声器を稼働させた青パト車を配置して、交通安全見守りをを行っている。活動には学生ボランティアも一緒に活動している。
市評価	地域の安全・安心を保持するためには、啓発活動や見守り活動を継続的に実施できる主体の存在が不可欠である。当該団体は、地域住民が自発的に組織した、交通・防犯に特化したNPO法人であり、交付金を活用して行われたパトロール活動は、交通事故軽減や犯罪抑止に多大な効果をもたらしたものと評価できる。また、こうした活動の新たな担い手として、大学生ボランティアを導入する試みも行っており、次年度以降の事業展開が期待される。
備考	

申請事業名	インターネット番組の制作及び番組の配信事業（3年目）
申請団体	さがつく！プロジェクト
事業目的	相模大野を中心とした地域の情報を発信し、さらなるまちの魅力づくりに貢献する。商業・文化・エンターテインメント性のあるまちとして視聴者に認識してもらい、さらに多くの方が集まるまちにすることを目的とする。
交付決定日	平成25年6月5日
交付決定額 （事業費）	400,000円（決算995,000円）
団体実績報告	<p>Ustream・YouTube 番組放映内容</p> <p>6月：取材月間「クレマチスフェア2013」他</p> <p>7月：クレマチスフェア2013 / 小田急線大野総合車両所他</p> <p>8月：もんじえまつり SP 放映延期</p> <p>9月：2周年 SP 東林間サマーわぁ！ニバル2013・小田急ホテルセンチュリー相模大野・相模大野もんじえまつりダイジェスト他</p> <p>10月：取材月間「さがみおおのハロウィンフェスティバル」</p> <p>11月：さがみおおのハロウィンフェスティバル・アートクラフト市 秋の市2013</p> <p>12月：XMAS 特別編 ～ポーノ相模大野 はじめての点灯式～</p> <p>1月：こどものまちコラボSP</p> <p>2月：相模大野のお正月・はたちのつどい・トーク</p> <p>3月：ユニコムまちづくりフェスタ参加団体PR</p>
市 評 価	<p>Ustream や YouTube といった新発のメディアを用いた大野南地区の情報発信事業も本年度で三年目を迎え、番組内容の充実や、固定・新規視聴者の獲得、「相模大野の子どものまち」等の地域イベントとの相互連携の試みなど、意欲的な事業展開が図られている。情報量が豊かな動画配信による地域情報発信は、公益性・社会貢献度を一定に満たすものと評価される。広告収入等による自主財源確保が3年間を通じた課題となってきたが、景気低迷などにより目標値達成には至っていない現状であり、継続的努力を要する。</p>
備 考	

申請事業名	道正山斜面林整備事業（４年目）
申請団体	境川の道正山河畔林を守る会
事業目的	道正山斜面を緑豊かな斜面林に戻し、次世代に引き継ぐ。
交付決定日	平成25年8月6日
交付決定額 （事業費）	20,000円（決算40,502円） 交付率：1/2
団体実績報告	<p>企業との協働により、道正山斜面上段に常緑樹の植樹を実施した（シラカシ10本・ウラジロガシ10本・ヒサカキ5本・クロモジ5本）。秋の七草を揃え、子供たちにミニ植物園として楽しんでもらえるようにした。</p> <p>下草刈りや落ち葉かきなどの保全活動により、自生の野草（ジュウニヒトエ・ニリンソウ・オドリコソウ・ホタルブクロ・ウラシマソウ・トウダイグサ・キランソウ・キツネノカミソリ・タツナミソウ・ウバユリ・ヤマユリ・ハギ・ハナウド・ヤマホトトギス・ハウチャクソウ等）と植栽の草本（フジバカマ・オミナエシ・キキョウ・ナデシコ・ヒガンバナ・キチジョウソウ等）の生育環境を良好に保った。</p>
市評価	<p>平成25年度の活動においては、以前から協力関係にあり、活動地の地権者でもある民間企業との連携強化が実現し、社員ボランティアとの協働による下刈りや植林が実施された。これにより事業目的である「道正山斜面を緑豊かな自然林に戻す」活動に飛躍的な前進が認められた。また、地元自治会や高校・大学との連携についても、従前どおり良好な関係が維持されており、公益性・社会貢献度を充足する事業成果があったものと評価される。</p>
備考	

申請事業名	おおのジャズ Jam Collection 2013 (新規)
申請団体	相模大野駅周辺商店会連合会
事業目的	市の対外的な認知度やイメージの向上。市民による相模大野の魅力の再発見や市民としての誇り、一体感の醸成。相模大野ならではのまちの魅力の発信やまちとしての活力の創出。
交付決定日	平成25年8月6日
交付決定額 (事業費)	400,000円(決算1,347,752円)
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スチューデントジャズ &amp; 在日米陸軍軍楽隊ジャズライブ(9/14・ポーノ広場)</li> <li>・ ポーノジャズステージ(9/14・15・ポーノ広場・ポーノウォーク)</li> <li>・ ゴスペルジャズライブ(9/16・ポーノ広場)</li> <li>・ 大野銀座 the JAZZ(9/18・ファゴット、六月園、まるう、ほしの)</li> <li>・ コリドージャズライブ(9/21・相模大野コリドー街)</li> <li>・ 鶴の SWING(9/22・相模大野駅南口駅前広場)</li> <li>・ 女子大通りストリート(9/23・女子大通り商店街事務所)</li> <li>・ おおのジャズ クルージング4(9/23・相模大野駅周辺商店街参加店舗)</li> <li>・ Jazz Night in CENTURY(9/24・小田急ホテルセンチュリー相模大野)</li> <li>・ 南区の魅力づくり事業 石井彰 JAZZ コンサート(9/27・南市民ホール)</li> <li>・ おおのジャズ Jam Collection 2013 at 伊勢丹 ジャズ &amp; フード フェスティバル(9/28・29・伊勢丹相模原店)</li> <li>・ 寺井尚子カルテット「passion」(10/5・相模女子大学グリーンホール)</li> <li>・ おおのジャズ Jam Collection 2013 フィナーレライブ(10/6・小田急ホテルセンチュリー相模大野)</li> </ul>
市 評 価	<p>申請団体は、平成23年当時から、地域ブランド「おおのジャズ」を用いた相模大野周辺の活性化や魅力づくりに取り組んでいる。本事業は、その流れを汲み、商業者、教育機関、行政等との連携のもと、相模大野を1か月間ジャズによる賑わいを創出するという企画であり、期間中に行われた13のジャズイベントにより、地域ブランドの浸透や地区内外へのアピールが効果的に図られたものと評価する。</p> <p>ブランド維持には、事業の持続性担保は不可欠であり、関係団体の連携強化や企業の協賛等による安定的な資金確保などが課題である。</p>
備 考	

申請事業名	大野南地区子育てマップ製作事業（新規）
申請団体	大野南地区子育てマップ委員会
事業目的	子育てマップの作成・配布を通じ、地区内で子育てを行う母親の不安解消に役立てることを目的とする。
交付決定日	平成25年9月24日
交付決定額 （事業費）	300,000円（決算300,000円）
団体実績報告	地区内の子育て関連施設や公園などを委員が独自に調査し網羅したマップを6,000部製作し、地区内の公共施設や子育て関連施設へ配架した。
市評価	大野南地区では、以前から、子育て中の親が利用できる施設や機関の位置が一目でわかるようなマップやリーフレットがないという声があった。当事業はこのような声を受け、子育て世代の目線を意識しながら、見やすくコンパクトな子育てマップ作りを約半年間かけて行ったものであり、公益性や社会貢献度は極めて高いものと評価できる。
備考	

申請事業名	相模大野かぼちゃまつり事業（４年目）
申請団体	相模大野かぼちゃまつり事業部
事業目的	イベントによる地域活性化、主体間の連携強化。子どもや親子連れが楽しめる体験型イベントによる郷土愛の醸成。参加者、協賛企業、出店者による経済の循環。
交付決定日	平成２５年９月２４日
交付決定額 （事業費）	300,000円（決算1,329,625円）
団体実績報告	開催日時 平成２５年１０月２０日（日） 開催場所 相模大野中央公園 内 容 子供達によるステージパフォーマンス、子供達による仮装コンテスト、地元中心の飲食ブース、フリーマーケット、子供スポーツ体験、防災啓発 来場者数 ８００名。
市 評 価	地域の青少年や商業者、企業などを巻き込んだ地域密着型イベントとして、大野南地区の風物詩となりつつある。屋外イベントのため雨天であった今年度は来場者数が伸び悩んだものの、地域の多世代交流や大野南地区の魅力づくりに大きく貢献したものと評価される。 事業の持続性を担保するため、自主財源比率を高めることが従前からの課題であるが、引き続き協賛企業の模索等で課題解決を図ることを期待する。
備 考	

申請事業名	消防団活動活性化地域啓発事業（２年目）
申請団体	相模原市消防団南方面隊第三分団
事業目的	地域防災活動の向上と充実を図るため、消防団活動に関する広報活動を行うとともに、新規団員の応募を促すもの。
交付決定日	平成２５年１１月２８日
交付決定額 （事業費）	154,000円（決算154,200円）
団体実績報告	<p>消防団の広報活動の一環として、地域ごとの個別の消防団名（「相模大野消防団」「中和田消防団」「谷口消防団」）が入ったのぼり旗各20本（計60本）を作成した。</p> <p>こののぼり旗を、消防団詰所や地域の主だった場所に立てるなど、日頃からの活動アピール等に活用し、またイベント等では地元消防団であること等を広報・PRし、地域防災啓発活動と消防団活動への理解を深めるために活用した。</p>
市評価	<p>初年度に引き続き、消防団員の高齢化や担い手不足といった地域課題解消のために、昨年度実施効果の高かった団名入りのぼり旗を用いた啓発活動を実施した。新規団員獲得といった直接的な成果については、事業年度終了時点において得られていないものの、地域住民に対する消防団活動の周知、防災意識向上といった目に見えない効果は、地区内に着実に根付いているものと評価できる。</p>
備考	

申請事業名	相模大野の子どものまち（新規）
申請団体	相模大野の子どものまち実行委員会
事業目的	青少年が、仮想のまちの中で、楽しみながら主体的にまちづくりを 実践し、未来の市民力をアップしていくことを目的とする。
交付決定日	平成25年11月28日
交付決定額 （事業費）	226,000円（決算278,637円）
団体実績報告	<p>12月23日、ユニコムプラザさがみはら全館を貸し切り、第1回相模大野の子どものまちを開催した。</p> <p>子ども311名（麻溝地域の子ども7名を含む）が参加し、実在する商店や企業とともに「まち」を企画・運営する体験を通して、実際のまちの仕組みを学習し、次世代の相模大野をになう子どもたちの育成や活気あるまちづくりに寄与した。</p>
市評価	<p>全国各地で行われる「子どものまち」の大野南地区版として、地区内の小中学生や学生ボランティア、社会人有志で構成された実行委員会により企画運営が行われたもの。この企画を通じ、地元企業や商店、地域団体等による協力体制が新たに構築され、地域ぐるみで青少年育成を行う気運が高まった。また、参加者の子どもたちや学生ボランティアの中から、事業実施後も自主的に「子どものまち」を継続していく動きも生まれており、次年度に向けた展開が期待される。持続性確保のために、協賛企業の増資やボランティア登録制度の強化などが課題とされる。</p>
備考	